
赤っ恥！！！！

河野夜兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤っ恥!!!

【Nコード】

N3583J

【作者名】

河野夜兎

【あらすじ】

モノの言い方と身嗜みには気をつけないとねえ…って話（笑）

「ズボンのチャック開いてるよ。」

この一言で私と奴――長谷部ナツオとちょっとした因縁が生まれた。

中学の同じクラスの2―Cの愉快的仲間達と再び顔を合わせた三学期の始業式前。

朝のホームルーム前の賑やかな教室内。

喋る内容は、大体お年玉幾ら貰った？とか、どこへ遊びに行った？とか、正月モードが抜けない平和で明るい話ばかり。

勿論、私もそんな正月話を友達とキャーキャー笑って声を弾ませていた。

そんな時である。

私の視線に飛び込んだ珍事！！

は、長谷部の制服のズボンのチャックが開いてるっ！！

「ぶっ……。」

一緒に喋ってた友達のあやちゃんは、私の異変に気付き、点々とくぎづけになっている私の視線を辿る。

「あ……。」

あやちゃんも長谷部のチャックが開いている事に気付き、顔を赤くした。

「あやちゃんも気付いた？ねえ、こうゆう場合はさあ、やっぱり言ってやったほうがいいよね？」

私はあやちゃんに尋ねる。

「な、なんかさ、そうゆう事言うの恥ずかしくない？」

あやちゃんは顔を手でパタパタと扇ぎ、なるべく長谷部を見ないように頑張ってる。

「いやいや、チャック開けっぱなしに気付かないほうがもっとヤバイでしょ？これから始業式もあるし。」

恥の傷口はなるべく小さいほうがいいと、お節介ながらにそう思い、私は席を立ち長谷部に歩み寄った。

長谷部は後ろ向きに椅子に座り、大股バカツと開けてクラスの男子と談笑している。

笑いながら体を揺らす度に、チャックがパクパクと口を動かすかのようになり、私は笑えて吹き出しそうになる。

人としてここは笑ってはいけない。

そして、長谷部が恥をかかないように毅然とした態度で私はこう言った。

「ねえ、長谷部。」

「ん？」

私の呼びかけに顔を向ける。

「ズボンのチャックが開いてるよ。」

真顔でわかりやすく簡潔にはつきりと長谷部に伝えた。

しーん……。

さっきまで賑やかだった教室は私の放った一声で一瞬静まりかえる。そしてその後、何だか知らないけど教室内は大爆笑。

「長谷部！何やってんのお！っ！」

「三学期初日からマジウケる！っ！！」

「っ！か、安藤声デケーなっ。さすがバレー部部长！体もデケーし

な。」

「うるさい！山口！てか体は関係ないじゃん！最低！」

私は野次を飛ばし笑う田中を睨み吠える。

「最低なのはオメーだよ！！」

顔を赤くして怒りまくり私に吠える長谷部。

「はああ？何が最低だよ！？あんたがこれから更に赤っ恥かかないようにせっかく親切で教えてあげたのに。」

「はああ？そうゆづのを大きなお世話って言うんだよ！っーかオメーのせいで更に赤っ恥だ！」

すごい剣幕で怒声を放った。

「はああ！？チャック全開で始業式なんて、超恥ずかしい状態を回避してやったのに、なんで逆ギレされなきゃいけないのよーっ！」

「だから！それが余計なお世話つつつてんだよ！大体なあ、学ラン着てっから立ったらズボンのチャックなんて隠れて見えねーんだよ！」

長谷部は立ち上がり、ほれ見るとばかりに両腕を腰にあてて胸を張る。

あ、本当だ・・・

「でっ、でもっ！チャック開いてるのに見てみぬフリなんて人としてどうなのよっ！？」

私は周りを見渡し意見を求める。

「言い方ってのがあるだろ！デカイ声でチャック開いてるなんて言われたらぶっちゃけお前ならどう思うんだよ！？」

「そりゃー、黙ってられるよりは、はつきりきっぱり言っつて貰ったほうがいいと思うわよ！」

私は机をバンツと勢いよく叩いた。

「そうかい、そうかい。じゃあはつきりきっぱり言ってるよ。」

長谷部は真顔で、

「チャック開いてんぞ。」

と私のセーラー服のスカートを指さした。

「え・・・？」

そろーりとスカートのチャックを見ると…
ぐげあっつ！！！！

「あわわわわっ！！」

顔がみるみるうちに激アツ！

「うゃああああああああゝゝっ！！！！」

私は奇声をあげてダッシュでトイレへと逃げた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3583j/>

赤っ恥！！

2010年10月17日23時18分発行